

2020



ぼくの夢 わたしの夢

新しい年を迎えて、
高山小学校6年生の
皆さんに「将来の夢」を
語っていただきます



機械設計士になりたい

関根 伊吹

ぼくの将来の夢は、機械設計士になることです。きっかけは中学年のころ工場見学にいった時です。機械を設計している人がいて、カッコいいなど思っていて、ぼくもその仕事をしてみたいなと思いました。僕は今、家で作業をしたり、こわれた機械の中を見て、その機械を直したりしています。実際にラジカセの音が鳴らな

くなつた時、中を見てどうやって音が鳴っているのかなと思いつつ直したことがありません。その時は、とてもうれしかったです。これから将来に向けてがんばっていきたいです。いろいろな機械を直して、お母さんやお父さんを助け、いろいろな人を幸せにしてあげたいです。



助産師になりたい

小池 里奈

私は、将来、助産師になりたいです。新しい命のたん生に立ち会えるのはとても特別な事だと思つたので、この仕事につきたいと思いました。あと、私を産んでくれたお母さん、私を産むときに手伝ってくれた助産師さんに感謝したいと思つたので、私は助産師になつて、他のお母さんとお父さんの子どもが生まれる

時に手伝いたいと思いました。私が助産師になりたいと思つたきっかけは、「コウノトリ」というドラマでした。お母さん達に優しく対応している助産師さんを見て、とてもやりがいのある仕事なのだなと思いました。私は、命のたん生に感謝できる優しい助産師になりたいと思いました。



ぼくの将来の夢

飯塚 柁也

ぼくはイラストレーターになりたいです。理由は、兄のようにぼくも絵がうまくなりたくて、練習したらみんながうまいって言うてくれたからです。そのために家でいつも練習をしています。失敗する時もあります。成功する時もありません。成功したらすこくうれしし、次もかこうと思えます。イラストレーター

は絵が好きなのでなれるとは思いませんが、練習してイラストレーターとして認められるようにがんばります。今からがんばりたい事は絵のかけ順やかけ、光のかき方です。かけや光をかいたこともあるけど失敗してしまいました。なので、動画などを見ながら練習して、もつとうまい絵をかきたいです。



ぼくの夢

中山 歩

ぼくの将来の夢はシェフになることです。きっかけは、あるドラマで「料理は人の心を動かす力がある」という言葉を聞いたことです。この言葉が心に残つたので、料理を進んでやるようになりまし。ぼくは自分で作る料理を食べてくれた人が「おいしい」と言っ

てくれるようなシェフになりたいです。ドラマで見た料理を実際に作ってみたら、卵焼きが難しく、1回ぐちゃぐちゃになってしまいました。けれど何度も作っていると少しずつ形になるようになりまし。家族にこれを見せたら「すごい」「おいしい」と言ってくれてとてもうれしだったので、シェフになると決めまし。



将来の夢

星野 由奈

私の将来の夢は2つあります。1つ目はダンスの先生になりたいです。理由は、私はダンスがとても好きなので、もっとうまくなって大人になっても、うまくできるようなしていきたいからです。

2つ目はパン職人になりたいです。大人になったらパンを焼くのが夢で、ずっと焼いてみたいと思っていました。パンをおいしく焼いてお客さんに買ってもらい、笑顔で帰ってもらいたいです。

この夢をかなえるために、いっぱいダンスの練習をして、たくさんのお客さんに見てもらいたいです。あと、パン屋で働き、たくさんおいしいパンを作れるようになりたいです。



今まで支えてくれた父、母のために

塚越 陽翔

ぼくは、将来サッカー選手になりたいです。理由は、みんなとサッカーをしていると楽しいからです。それに実際にプロの試合を見に行くと、いいプレーをしています。いいと思えば、プロが実際にやっている舞台に立ってみたいと思います。そのために、まだまだ足りないところがあるので、今から二つのプレーをみがいて、プロになった時にいいプレーができるようにしたいです。だから今は体力と学力をつけるためにがんばっています。プロになって、見に来てくれた観客を驚かせるプレーをしたいです。そして、今まで支えてくれたお父さん、お母さんにちよつとでも恩返しできるようにがんばりたいです。



保育士になりたい

星 舞波

私は、将来、保育士になりたいです。私は小さい子が好きで、保育士になりたいと思いました。そのきっかけは、近所に住んでいる小さい子と遊んでいるときです。そのお母さんから「ありがとう」と言われて、とてもうれしくて、小さい子の面どうをみる保育士の仕事はやりがいのある仕事だと思いました。また、学校でも、1年生と遊んでいる時に、ケガやけんかが起きないように気をつけて遊んでいて、いつも「ありがとう」と言われて、うれしくなります。でも妹と遊ぶ時には、約束があつても、自分のやりたいことをやってしまうことがあるので、妹にも、みんなにも優しくできる人になりたいです。



未来の私

鈴木 理緒

私は、人を助ける仕事をしたいです。きっかけは、看護師をしているおばあちゃんの姿を見て、私もなりたいたいと思ひ、そしておじいちゃんやが亡くなつてから「人を助けたい」という思いが強くなりました。

おばあちゃんやが看護師になつた理由を聞くとき、「ひいおじいちゃんやが戦争に行つてケガをして帰つてきたから看護師になつてケガを思つたんだよ」と言われました。私もおばあちゃんのように、だれかを助ける人になりたいと思ひます。そのために、勉強をがんばり、体力をつけたいです。私は、1秒でも早く困つている人を助けたいし、数多くの命を救いたいです。



プログラマーになりたい

石坂 信元

ぼくはプログラマーになりたいです。ぼくは、6年生からプログラミングを習つています。ゲームのプログラミングはキャラクターや背景がどう動くか考え、作っていきます。ぼくは、ゲームのプログラミングが好きです。作っていると時間を忘れ、2時間も1時間に感じ、とても集中しています。作っているときには「これだつたら楽しいな。これを作つたらおもしろいな。」と考えてしまいます。

ぼくはニンテンドーの会社に入りたいです。そこでみんなが楽しめるゲームを作るプログラマーになります。これから勉強をがんばつてより楽しいゲームが作れるようになりたいです。



将来の夢

田中 健登

ぼくの将来の夢は、診療放射線技師です。ぼくはケガをいろいろしてつらかつたけど、そんな時優しく接してくれたのが、放射線技師さんでした。なので、この職業にあこがれをもちました。今でも苦しがつている人がいるかも知れないので、すぐ病気をみつけて一人でも多く助けてあげたいです。でも今のぼくには無理なので、これからも勉強をがんばり、中学や専門学校でもがんばりたいです。他の学生に負けたくない努力をしています。大きい病気で小さい病気が絶対に見逃さないように、一人ひとりしっかり検査をしてすぐ病気を治してあげたいです。